

鳥取県生活環境部指定管理施設運営評価委員会評価報告書

鳥取県生活環境部指定管理施設運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区を除く。）の管理運営状況を評価した。

- 1 対象施設
鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区を除く。）
- 2 指定管理者
一般財団法人鳥取県観光事業団・株式会社チュウブ共同企業体
- 3 指定管理期間
平成31年4月1日から令和6年3月31日

4 評価委員会

- (1) 開催日 令和4年9月13日
- (2) 開催場所 東郷湖羽合臨海公園 あやめ池スポーツセンター
- (3) 評価委員

氏名	所属及び役職名
竹内 由佳	鳥取環境大学大学院 環境経営研究科 准教授
宮城 律子（委員長）	税理士法人阪本会計 税理士
若山 訓	湯梨浜町観光協会 事務局長
鎌谷 眞里子	鳥取県レクリエーション協会 事務局長
坂口 貴志（副委員長）	鳥取県生活環境部 次長

(4) 評価方法

令和元年度から令和3年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果、施設内視察等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、5人の委員の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
施設設備の維持管理の状況	・施設設備の保守管理・修繕 ・施設の保安警備、清掃等 ・事故の防止措置、緊急時の対応
利用者サービス等の状況	・開園時間、休園日、利用料金等 ・利用者へのサービス提供・向上策 ・利用者意見の把握・対応
施設の利用状況、収入支出の状況	・施設の利用状況 ・利用の許可、利用料金の徴収、減免の状況 ・収入支出の状況
職員の配置	・事業計画で定めた職員配置となっているか、独自の判断での加配の有無 等
法令等の遵守	・関係法令（労働関係、環境関連法令、その他）に係る行政指導等の有無 等
県の施策への協力	・ウォーキング立県への協力 等

【評価指標】

- 2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。
- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
- 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
- △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
- △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による東郷湖羽合臨海公園（引地地区を除く。）の管理運営状況の評価は「1」と決定した

審査項目	評価点数（5人の委員の平均）
施設設備の維持管理の状況	0.80
利用者サービス等の状況	0.80
施設の利用状況、収入支出の状況	0.40
職員の配置	0.40
法令等の遵守	0.40
県の施策への協力	0.60
総括	0.57

(注) 総括の評価は0.57となり、委員協議の結果、5段階のうち「1」と決定

イ 運営評価委員からの主な意見

(施設設備の維持管理の状況)

- ・地盤沈下や老朽化の問題があるが、適切に維持管理されている。
- ・非常によく管理されていて、とても綺麗だった。
とても広く、いろいろな景色が楽しめるので、まずはたくさんの人に訪れてもらえるために何をすべきかを考えていく必要がある。
- ・トイレについては、子どもを1人で行かせると危ないと感じたので、早いうちに改修する方がよい。
- ・広い公園の管理を他団体と協力しながら運営されている。
- ・維持管理は、自然相手なものが多く、専門性も高く、難しいものだと感じた。
- ・公園内の一部をナチュラルガーデンにすることにより、今までとは違う植物に触れることができ、山野草の美しさを感じる事が可能となった。また、その植物に集まる生物にも関心を寄せることができる。良い形で管理するためのアイデアを共同企業体の二者で提案し合いながら維持管理していただきたい。
- ・ノルディックウォークや花や広場等、エリアごとに楽しめる部分を維持していくために努力されているのを感じる。
- ・ドッグラン付近の駐車場は、出入り口が狭い。植栽を整える等、入口をわかりやすくすれば、車を止めやすいのではないかと。

(利用者サービス等の状況)

- ・利用者の意見を反映して、施設利用方法の改善が行われている。
- ・公的な施設であることを強く意識し、すべてのニーズにこたえようとしすぎると、本当に必要としている消費者、利用者のニーズを逃がしてしまうと感じた。
- ・鳥取県のドライブをメインとした旅行の中に組み込むとしたら魅力的な場所だと感じる。県外（中部、関西）への情報発信を行っていただきたい。
- ・お金を払ってでも来たいと思わせるイベントを考えていただきたい。
- ・リピーターが楽しめるポイントを工夫する等、さまざまな応援団（ガーデンに感心のある方の定期的なボランティア等）を味方につけ、公園を愛する心を育てるよう導いていただきたい。
- ・ドッグランの試行期間を経て実現され、地域住民はもちろん、動物を連れた温泉客や旅行者の利用増につながった。
- ・夢広場周辺に関して、教育旅行の開校式・閉校式、駐車場の利用調整、予約管理等を指定管理者が支援したことにより教育旅行誘致につながった。
- ・広報について、ファミリーへの広報は、「子育て応援隊」（県窓口）の情報発信を活用してはどうか。
- ・趣味嗜好はさまざまであるので、それができるのがこの東郷湖羽合臨海公園となるように目指していただきたい。
- ・東郷湖羽合臨海公園は、この環境を守り県民が誇りとして未来に受け継いでいく場所。この環境を通して身近な生き物・植物に触れる環境教育の場として、また、四季を通して憩いの場となるよう管理運営していただきたい。（金銭的な利益を求めるといよりは、人の心を育む場所である）そして、職員の方がいきいきと、それぞれの特性を發揮され、創造力を持ちながら対応していただけることを期待したい。
- ・広いエリアではあるが、毎年少しずつ草地整備が拡大されている。芝桜は、ピンクの花畑の中に白い花がハートの形に植えてあり、撮影スポットにもなっている。このような環境を崩さない程度の遊び心もワクワクできる要素であり、今後も期待したい。
- ・県内1位の素敵なトイレを作っていただきたい。

(施設の利用状況、収入支出の状況)

- ・トレーニングルームを始めとして、利用料金の額をもう一度見直してもよいのではないかと。新しいマシンの導入や、楽しいイベントの開催に対応する適正な価格設定を行っていただきたい。
- ・「集客促進費を削減した結果、利益が増加しました」では、将来的な投資ができていないことになってしまうので、有事だからこそ強みを見つけて、臨海公園のためになるお金の使い方をしていただくと将来の集客につながるのではないかと。

(職員の配置)

- ・SNS活用の専門職員又はSNSへの理解度が高く、遊び心もある職員が必要と思う。